

# 2022 年度学生生活実態調査

## 自由記述部分に関する回答について

学生生活実態調査の実施に際しては、学生の皆さんにご協力いただきまして、ありがとうございました。

この調査は、本学の学生生活の実態を把握することを目的とし、修学状況、課外活動状況やボランティア活動の実態、学生の福利厚生に関する基礎資料を作成し、経年的に比較することで、学生の教学面、生活面をサポートするための施策を迅速に立案・実施するために欠かせないものです。

調査の結果は、すでにホームページ上で公開していますが、その他に自由記述による意見、要望等も寄せられています。それらに関係の部局に回付しましたところ、皆さんへお伝えしたい内容を含む項目や改善、検討する項目について、コメントを得ましたので、お知らせします。

2023 年 6 月

関西大学 学生センター  
所長 松村 吉信

\* 回答にあたって、キャンパスに共通する内容は、「各キャンパス共通」として回答しています。

### 各キャンパス共通

#### 1 授業・カリキュラムについて

##### ○関大ポータルアプリについて

関大ポータルのアプリで表示される週間時間割を 1 週間分だけでなく 1 週間以降も表示してほしいとの貴重な要望をいただきました。ご要望を踏まえて、関大ポータルの時間割については、前週及び翌週分が表示されるように検討しています。

#### 2 施設・環境について

##### ○キャンパスアメニティ（飲食設備等）について

本学は千里山キャンパスだけでなく、高槻や堺、梅田他多様な施設・環境を有しており、より充実したキャンパスライフを実現する快適な環境づくりを目指して取り組んでいます。

また、近年学びのスタイルの変化とともに大教室以外の多目的な教室や憩いのスペースの必要性も高まり、多様な学びのスタイルに対応する取り組みを行っています。

##### ○資料等の持ち込み印刷及び各学舎へのコピー機の設置について

資料の持ち込み印刷及び各学舎へコピー機を設置してほしいとの要望をいただきました。

ITセンターの関大Myプリントは、教室パソコンやBYODからのプリントアウトを目的としたサービスとしています。用紙持込みは、オンデマンドプリンタの特性上、機器の安定運用や管理面から持込みできません。

コピー機の利用においては、著作権者の利益を不当に害することがないように配慮が必要です。

## OKU Wi-Fi の通信環境について

KU Wi-Fi の通信環境についてのご要望をいただきました。

KU Wi-Fi は無線電波を利用した通信です。一般的に無線の電波は建物の形状をはじめ、壁の材質による反射や吸収、厚みや構造、そしてその周辺の電波状況など、環境に大きく影響を受ける性質を持つため、必ずしも常時、同一の一定した電波が届くものではありません。出来るだけ、各教室内の天井※に設置されているアクセスポイント（白い箱に複数のアンテナが付いているので、まるでクモのように見える機器です）付近での利用をお奨めします。

なお、ご指摘の千里ホールにつきましては、その構造（階段状の形状、天井が高い、壁の材質・・・など）により、電波強度に若干のムラを感じる場所があるようです。

ご指摘を受けて、現在アクセスポイントの増設などの改善を検討しています。

※KU Wi-Fi のアクセスポイントは、食堂などの一部の箇所を除き、教室の室内にのみ設置されています。

## 6 就職支援について

### ○キャリアセンターにおける個別相談について

個別相談に関して主に2点のご意見をいただいています。

一点目は、相談員毎に対応やアドバイスの内容に違いが生じていること。親身になって聞いてくれた、相談しやすかったという声がある一方で、ぞんざいな扱いを受けたために利用しなくなったという残念なご意見もいただきました。キャリアセンターの相談員は全員が、資格と経験を持っており、学生一人ひとりの状況や相談内容に合わせて、真摯な相談対応が出来るよう、随時、指導や研修を受けていますが、就職活動という学生の皆さんにとって初めてであるだけでなく非常に神経を使う活動において、十分に寄り添ってもらえていないと感じられる対応が発生することもあるようです。また、学生の皆さんを思うあまりの助言ではありますが、厳しく感じる表現や、皆さんの思いと異なる助言をされ、不安や不信感を与えてしまう結果になることがあったのかもしれない。

キャリアセンターとして状況を把握し、どのような時も皆さんが安心して相談に来ることが出来る窓口であるために、個別相談での対応について疑問やご意見がある場合には、速やかにキャリアセンタースタッフに申し出てください。

二点目は、相談予約が取りにくいとのご意見について、キャリアセンターでは就職活動・採用活動の状況を注視しながら、出来る限り、ニーズに沿った相談受付が出来るよう枠を調整しています。引き続き、皆さんが困ることがないように十分な相談枠の確保に努めます。

一方で、残念ながら、事前連絡なく予約時間に来ない学生がいます。就職活動や学習の予定が変更になり、予約変更を迫られることはあるのですが、キャンセルの連絡がないままですとその枠が無駄になってしまいます。多くの学生が同時期に就職活動を行い、同じように困りごと、相談事を抱えていることを十分にご理解のうえ、個別相談の利用をお願いします。

### ○キャリアセンターの支援全般について

キャリアセンターが実施している各種サービス、セミナーや行事録面の視聴、各種行事の開催等いくつかの点において、学生の皆さんに十分に伝わっていないものがあることを理解しました。今後、周知方法について改善点がないか再点検します。皆さんは、「関西大学就職支援システム KICSS」やインフォメーションシステム「お知らせ」等を常にチェックして、キャリアセンターをフル活用してください。

また、行事や各種講座は、KICSS 上で既にストーリーミング配信しています。是非、活用してみてください。

## ○様々な事情をかかえる学生への支援について

キャリアセンターでは、民間企業志望であれ公務員・教員の志望等であれ、多数の学生に共通する事項や必ず知っておいてほしい内容を中心として行事・講座を実施しています。

1・2年次生、外国人留学生、最短修業年限を超えて在籍している学生、障がいを持った学生等、様々な状況におかれた皆さんを対象とした支援も多数実施しています。こうした各種情報は KICSS で発信していますが、キャリアセンターにそれぞれの担当者を配置して個別に支援できる体制もとっていますので、漠然とした不安や疑問であってもキャリアセンターの窓口にご相談してください。

## 7 留学・国際交流について

### ○留学生との交流について

留学生との交流機会を増やしてほしいとの要望をいただきました。

今後とも様々な交流機会を提供していきます。ここでは、本学の交流機会の提供に関する現状をお伝えしますので、ぜひご活用ください。

#### (1) 外国人留学生とともに学ぶ

①本学は授業内で国際交流ができる環境が充実しています。共通教養科目のなかに「グローバル科目群」を設置し、英語で海外の学生とともに学べる授業を展開しています。とくに COIL (Collaborative Online International Learning) という授業は本学の特色となっています。ICT ツールを用いて海外の学生と連携し、さまざまな分野のプロジェクトに取り組む教育実践の方法です。英語をはじめ、外国語で意思疎通する機会とともに、異文化理解や異文化間コミュニケーションスキル、学生中心の課題解決型学習 (PBL) により、メディア・リテラシーやチームワーク・スキル等さまざまなスキルを身につけることができます。

また、千里山キャンパス以外の学生がグローバル科目群を履修しやすくするため、各キャンパスに Global Smart Classroom (GSC) を設置しました。大型ディスプレイ、集音マイク、カメラなどを備え、授業を行っているキャンパスから離れていても、まるで教室にいるような感覚で授業を受けることができます。2023 年度は春学期・秋学期各 6 科目ずつ提供しているので、特に千里山キャンパス以外の学生でグローバル科目群を履修したい方は、秋学期の履修変更の際にチェックしてみてください。

②千里山キャンパスの第 2 学舎 1 号館 2 階に Mi-Room という国際交流のためのスペースを設けています。その中で実施しているセッションやイベント、その他アクティビティには多くの留学生が参加しています。

また、2022 年度から「Virtual Mi-Room」という仮想空間における学生交流スペースを新たに設置しました。こちらはキャンパスに来なくても国際交流ができる場所で、パソコン等を使ってアクセスすることが可能です。本学の交換留学生として来日を検討している海外の学生や、本学への留学を終えて帰国した学生なども訪れ、Mi-Room とはまた一味違う交流が可能となっています。Mi-Room と同様に、こちらでもイベント等を随時開催しています。特に千里山キャンパス以外の学生に積極的に活用いただきたいスペースです。

インフォメーションシステムの「お知らせ」を始め、Twitter、Instagram、Facebook 等の SNS で Mi-Room 及び Virtual Mi-Room に関する情報を公開しています。イベント等の実施状況や参加方法がわかりにくい等、些細なことでもお気軽に国際部にご相談ください。

## (2) 外国人留学生を支援する

- ①Global Buddy Program (略称：GBP) では、関西大学の学生が交換受入留学生の Buddy (仲間・相棒) となり、交換受入留学生を含むグループで助け合い、学び合うことで、多様性を理解するグローバル人材育成を目指すプログラムです。交換受入留学生が来日後に抱く、日本の生活習慣やルール、友人作りなどに対する戸惑いや不安を取り除き、1日でも早く新生活に適応できるようサポートする一方で、Buddy となる皆さん自身は、国際的な交流活動を通して貴重な経験をすることができます。年2回(7月、1月)に参加者を募集しますので、是非参加してください。
- ②国際部学生スタッフ DIASS (Division of international Affairs student staff) になれば、海外協定校の担当教員・学生等来訪時のキャンパス案内や外国人留学生対象の各種イベント・説明会、来日時のオリエンテーションの運営補助、通訳補助、動画編集などを行っていますので、是非ご応募いただければと思います。
- ③留学生と日本人の「架け橋」となるべく国際交流ボランティア活動をしているピア・コミュニティとして「KUブリッジ」もあります。国際交流イベントを企画・運営を行い、留学生が充実した大学生活を送れるようサポートすることを目的として活動しています。
- ④南千里国際プラザにある留学生別科では、留学生たちが関西大学を始めとする日本国内の大学・大学院への進学を目指して日本語や日本文化等を学んでいます。別科の授業の一環で、関大生による「日本語授業ボランティア」を募集しており、留学生の日本語学習を支援していますので積極的に参加してみてください。

## (3) 外国人留学生とともに暮らす

4つの国際学生寮では、留学生とともに居住し、寮生たちの日常生活をサポートする「レジデント・アシスタント」(RA) 制度があります。RAは寮生同士の交流を深めるため、様々なアクティビティの企画や実施も行います。寮での生活を通じて、留学することなく国際感覚を身に付けられるとともに日常的に異文化交流の機会を持つことができます。

国際部が実施するイベントのほとんどが、参加者に語学力等の条件を求めています。実際に英会話は得意でない学生の皆さんもたくさん参加しており、異文化理解や外国語運用力向上のきっかけとなっています。まずは気軽に国際部へお越しください。

## ○留学情報提供について

国際部所管の留学プログラムの詳細は「GLOBAL NAVI」の冊子及びwebサイトに掲載しています。冊子版のGLOBAL NAVIでは各プログラムの基本情報を掲載しており、web版では各プログラムの最新情報や募集要項などを随時更新していますので、この2つを併せて確認することで留学制度やプログラムの特徴をお分かりいただけたと思います。最新情報についてはwebサイトだけでなく、インフォメーションシステムのお知らせ、LINEやInstagramなどの各種SNSにも掲載していますので、そちらもぜひフォローして情報をチェックしてください。

留学プログラムの詳細な情報公開時期について、場合によっては出願までの時間がタイトなものもあるかと思いますが、可能な限り早めに情報を公開し、学生の皆さんが出願締切まで余裕をもって検討できるようなスケジュールで募集ができるよう努めます。

また、留学相談会などの各種イベントの情報も web サイトや SNS で発信しています。

GLOBAL NAVI の web サイト内に「イベントカレンダー」というページがあり、月ごとに実施予定のイベントをまとめて掲載していますので、ぜひこまめにご確認ください。イベントについては、昼休みの時間帯に実施することが多かったのですが、「昼休みだと参加が難しいため遅めの時間設定（18 時頃）にしてほしい」という意見も複数いただいています。学生の皆さんにとって参加しやすい時間帯を意識しつつ、今後のイベント運営を検討していきます。

## **8 奨学金制度について**

### **○奨学金に関する情報提供について**

奨学金に関する情報が学生の皆さんに十分に届いていないとの意見がありました。

前回の学生生活実態調査でも同様の意見があったことや、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、インフォメーションシステムの「お知らせ」や「個人伝言」を活用しての周知や、奨学支援グループ Web サイトにデジタルパンフレットを掲載する等、インターネットを活用した情報提供の充実に向けて取り組んできました。

今後は、これまでよりも学生の皆さんに広く情報を提供できるよう、学内掲示板の利活用に加えて、SNS やメールマガジンの活用など、更に効果的な周知方法について、継続して検討・運用していく予定です。

### **○給付奨学金制度の改善について**

給付奨学金の制度に関して様々な意見・要望がありました。

2016 年度から運用されている給付奨学金制度については「2013 年度学生生活実態調査」において学生の皆さんの意見を反映して制度設計したものです。学部の給付奨学金については成績重視よりも経済支援を重視してほしいという結果に基づいて制度設計を行いました。2020 年度より「高等教育の修学支援新制度」が導入されるなど、奨学金事業を取り巻く環境は大きく変化しています。

現行の制度についても見直しを行い、引き続き、学生の皆さんの意見を反映できるように制度の検証を行っていく予定です。

## **9 課外活動（施設含む）について**

### **○課外活動支援について**

体育会活動に対する支援について様々な意見をいただきました。

体育会クラブへの助成金に関しては、クラブ面談等で聞き取った情報を基に、予算をクラブの現状に則して配分しています。

体育施設の利用に関しては、大学行事・正課体育を最優先とし、正課体育終了後の時間を体育会活動、併設校のクラブ活動、その他の活動という優先順で調整しています。体育施設の利用を希望される場合は、まずはスポーツ振興グループにお問い合わせください。

他の要望として、学生生活に役立つ研修会の開催、指導者体制の充実等に関するご意見をいただいています。学生の皆さんからの要望を基に、更なる改善に向けて検討していきます。

## ○ボランティア活動に関する情報について

ボランティア活動に関するポスターは以下のとおり、各所に掲示しています。

ポスターを掲示しているほかに、以下の SNS でも随時情報を発信しています。

凜風館 1 階のボランティア活動支援グループでも詳しく説明を行いますので、お気軽に立ち寄ってください。

ポスター掲示場所

【千里山キャンパス】

正門前、新関大会館南棟前、凜風館 1 階

【高槻キャンパス】

A 棟（管理研究棟）1 階 高槻オフィス前

【高槻ミュージズキャンパス】

西館 1 階ブックセンター前

【堺キャンパス】

堺キャンパス事務室前

各種 SNS 等

◇関西大学ボランティアセンターHP

【URL】 <https://www.kansai-u.ac.jp/volunteer/index.html>

◇公式 LINE

【URL】 <https://page.line.me/bus4049v?openQrModal=true>

◇Instagram

【URL】 <https://www.instagram.com/kansaiuniv.volunteercenter/>

## 10 その他

### ○キャンパスメンバーズについて

博物館だけでなく、県立・府立美術館のキャンパスメンバーになってほしいという要望がありました。

現在、学校法人関西大学では、学生証又は教職員証を提示することで、奈良国立博物館と京都国立博物館の 2 館の平常展を無料で何度でも観覧できる国立博物館キャンパスメンバーズに加入しています。展示会や関連行事が開催される際にはインフォメーションに掲出し、正門インフォメーションロビーや博物館内等でチラシを配付しています。

あいにく近隣の県立や府立美術館で本学が加入できる同様の制度を設けているところはありませんが、本学学生の皆さんが文化や芸術、歴史などに広く触れる機会を持つことができるように、可能な限り、関係部局と情報共有して、無料入場が可能となる美術館や博物館等を増やしていくことを検討していきます。

## □ 千里山キャンパス

### 1 授業・カリキュラムについて

#### ○学年暦・カリキュラム・授業について

授業数が多く非常に充実していて面白い、大変満足しているとの声をいただいた一方で、授業の指導方法や進度・難易度等に関するご意見、カリキュラムや時間割に対するご要望、また授業時間や試験期間等の学年暦に関わる点についても、現状より長く又は短く等のご意見をいただきました。

本学では、学位授与にあたって、適切なカリキュラム構成がなされているかの質的検証を鋭意続けています。また、教育開発支援センターを置き、教育方法の改善のためのFD等、教育の質的向上に向けたさまざまな取り組みを行っています。今回いただいた多様なご意見についても、各学部と共有し、検証・検討のうえ着手すべき点について、可能な限り早期に対応できるようにいたします。

#### ○対面授業・遠隔授業について

2020年度から2022年度のコロナ禍となった3年間は、対面で授業を実施することに制限が生じ、急遽遠隔授業に切り替える等、学生の皆さんにも急な対応を強いることとなりました。この3年間は、教育を止めずに継続して行うこと、感染症対策に取り組みながらキャンパスでの交流の場をできる限り確保することに注力し、一部科目に遠隔授業を取り入れながら、徐々に対面授業を増やすよう年度ごとに対応してきました。ご理解・ご協力いただいた学生の皆さんに大きく感謝しているところです。

さて、対面授業、遠隔授業について、学生の皆さんからそれぞれの良い点、悪い点のご意見をいただきました。2023年度からは、この3年間で得た知見を活かし、感染症対策ではなく科目特性に応じて、学部が指定した科目を遠隔授業で実施しています。皆さんからいただいたご意見を参考に、また、今後、それぞれの授業方法における教育効果について検証を行い、より適切な授業方法を取り入れていきます。

### 2 施設・環境について

#### ○自習スペースについて

利用可能な自習スペースの設置及び場所の明示についてご意見をいただきました。

コロナ禍においては、大規模科目は遠隔授業としていたことから、各学舎の大規模教室等を自習スペースとして常設し、授業を行っていない時間帯の空き教室も自習スペースとして適宜ご利用いただいております。2023年度からは、全教室で授業を行うことから常設の自習スペースは設置しておりませんが、引き続き、空き教室については自習のためにご利用いただくことが可能です。利用可能な教室は、各学舎の1号館1階に「教室利用状況」を掲示していますのでご確認ください。

### ○キャンパスの清掃、美化等について

各学舎での清潔感の違い等について要望がありました。

本学では、複数のキャンパスにおいて全学的に統一した基準での清掃仕様にて清掃作業を実施しています。長い歴史のあるキャンパス全域を見渡すと、老朽化した建物が多いと感じる学舎や建替えが進んで比較的新しい学舎の多いエリアなどの差もありますが、老朽度合を清掃結果の差として感じておられるのかもしれませんが。学生の皆さんもゴミが落ちていたら拾ってゴミ箱に捨てるなど、進んでキャンパスの環境美化にご協力いただければ幸いです。

### ○キャンパスアメニティー（トイレ）等について

トイレの仕様の違い等について要望がありました。本学ではすべてのトイレについて、定期的なメンテナンスや点検を実施しており、老朽化や改修が必要と判断されている場所については適宜改修や修繕に取り組んでいます。もし、故障箇所を発見された場合は、最寄りの事務室までお声掛けください。

### ○バリアフリー等について

キャンパス内のエレベータの利便性について要望がありました。

千里山キャンパス内の建物には約 90 基のエレベータを設置して上下の動線の不便さを少しでも解消するように努めています。中には老朽化の進んだエレベータもありますので、年次計画的に改修を進めて行く予定です。

### ○冷暖房、空調の設定等について

冷暖房による暑さや寒さ等について要望がありました。

本学では、大教室などがある教室エリアの建物では、冷暖房効率に優れた全館空調システムが採用されており、当日の天候や授業スケジュールに合わせ温度管理を行っています。1 人 1 人が感じる室温には個人差があるので、クールビズ、ウォームビズの観点から各自での対応にご協力いただければ幸いです。

### ○駐輪場等について

千里山キャンパスの駐輪場等について要望がありました。

千里山キャンパスでは授業の合間のタイミングなどに非常に多くの学生が学内通路を歩き交う中、歩行者と自転車の接触事故防止の観点からキャンパス中央部に駐輪場を設けていません。このため、各学舎から比較的遠くに駐輪場を配置することとしています。

また、千里山キャンパスにおいては、緑豊かなキャンパスであることから風致地区に指定されており、敷地内の建ぺい率が厳しく制限されています。このため、屋根等を持つ新たな構造物を建てにくい状況です。

### ○学舎の建替え要望、教室・課外活動施設・設備の利便性向上について

千里山キャンパスは、1922 年に大阪市内から移転したことから 2022 年には開設 100 年を迎えました。本学では建物や設備の更新について、関係者の皆さんの一つ一つの意見に耳を傾け、さまざまな要望をとりまとめながら必要な改修に取り組んでいます。

関係者との協議の中で、優先順位や費用対効果を勘案して実施しているためすべての案件に着手するのは難しい状況ですが、今後も必要な施設・設備の更新を順次進めていきます。



### ○図書館でのコンセント利用について

図書館にコンセントを利用できる場所を増やしてほしいとの要望がありました。

1階ラーニング・コモンズ、持ち込みパソコンコーナー、2階機器利用コーナー、3階一般閲覧室2の一部において電源を利用できます。今後も電源増設を推進していきたいと考えています。

### ○各学舎への図書館設置について

各学舎にその学部に合わせて小さい図書館がほしいとの要望がありました。

総合図書館は千里山キャンパスのランドマークとしてキャンパス中央に位置し、総合図書館として分野の偏りなく千里山以外のキャンパスを含む全学部・研究科の利用者が利用することを想定した蔵書構成を維持することとしています。そのことから、図書館では、千里山キャンパスにおいては、現状の総合図書館における集中管理が最適と考えています。各学部学舎への図書館施設の設置や機能の分散はあらゆるコストを増加させることになり、むしろサービス低下を招く懸念があることから、図書館としては想定していません。

なお、法、経商、社会学部にはそれぞれ資料室が存在します。法、経商は大学院学生以上(科目等履修生・聴講生を除く)が利用可能、社会学部は学部学生(科目等履修生・聴講生等を除く)が利用可能です。

### ○図書館の蔵書及び雑誌・大学紀要などの受け入れ再開について

図書館の年間受入冊数はここ5年では約18,000～20,000冊で推移しています。また、図書の蔵書数は、2018年度が約218万冊に対して、2022年度は約222万冊と増加しています。年間受入冊数がそのまま蔵書数として増加していかないのは、購入図書には入替対象となる開架図書が含まれているためです。

さらなる蔵書の増加には、書庫狭隘化の解消等の課題もありますが、できるだけ必要な資料を備え付けられるよう努力します。

寄贈等の購入以外の雑誌及び大学紀要に関しては、冊子受入を中止する理由としては出版元からの送付停止によるか、リポジトリ等の手段によりオンライン閲覧が可能となったことによります。後者については、図書館で冊子利用するより便利な入手手段が確保されたことになるため、図書館では受入を再開することは想定していません。

また、図書館に小説を増やしてほしいとの要望もありました。

図書館における資料の収集に関しては、「関西大学図書館 資料収集方針」に拠るところとしており、限りある図書予算の中で、授業科目にかかわる学習用資料や学生の人間形成並びに自主学習にかかわる資料、及び各研究者の研究分野・研究テーマにかかわる研究用資料などを優先して収集していくものとしています。逆に、同方針では、趣味的要素、娯楽的要素の強いものは図書館における収集対象外としています。

小説については、収集対象から除外されるものではありませんが、小説の中でも当該方針にかなうものを優先して収集することとしています。限られた図書費の中で、利用者の希望する小説をすべて収集することは難しい状況です。しかしながら、収集方針と予算の許す限りで購入していますので、特定の資料の購入を希望する場合には、窓口及びオンラインサービスによる購入依頼を積極的に活用してください。

さらに、借りたい図書がないため蔵書を増やしてほしいとの要望もありました。

学部生・大学院生であれば窓口及びオンラインサービスによる購入依頼を行うこともできます。一つの図書館ですべての資料を準備することはそもそも難しいです。他大学から必要な文献を取り寄せることも、卒業研究等では必要な情報探索行動ですので、図書館ガイダンスの受講や、カウンターのスタッフへも積極的に相談して、必要な資料を入手するための方法を身に付けてください。

#### ○清掃員・警備員への意見について

清掃員・警備員について好意的な意見をいただきました。

今後も学生の皆さんが安心して学生生活を送ることができるキャンパスづくりに努めていきたいと考えています。

### 3 食堂・コンビニについて

#### ○食堂サービスについて

各食堂について、便利で利用しやすいという意見や、100円朝食や凧風館3階のSUNMADEのパンについて美味しいという意見がありました。

事業者には、100円朝夕食については、450円相当のお弁当を日替りで、なるべく飽きのこないように工夫していること、また、凧風館3階（SUNMADE）では、月替わりで企画を実施し、季節感や流行を取り込んだ商品ラインナップを心がけていることを確認しています。

今後も皆さんの意見をもとに引き続き各事業者と検討を行います。

#### ○食堂の混雑について

食堂の混雑状況についての意見がありました。

全学部が一斉に昼休みとなるため、どうしても一時的に食堂が混雑してまいります。昼休み中、座席が2回転できれば、混雑は解消されると思われますので、学生の皆さんもご協力ください。

混雑回避の方策については、食堂事業者とともに継続して検討していきたいと思っております。

また、店外でテイクアウト弁当を販売していますのでご利用ください。

#### ○食堂メニューの価格について

食堂メニューについて、他大学やスーパーマーケットと比較して高く感じるという意見がありました。

単に価格の比較はできないものと考えますが、小鉢や総菜バーなどについては、学生の皆さんになるべく満足いただけるよう、他大学より多い種類のメニューを提供しています。昨今の食材高騰の影響もありますが、各食堂事業者には可能な限り安価で美味しい商品を提供できるよう努力を続けていただきます。

#### ○食堂メニューについて

バランスのとれたメニューや季節感に合ったメニューの提供について要望がありました。

各事業者においては、季節に合わせたメニュー提供を心がけてはいますが、皆さんの意見を受け、今後も栄養バランスや季節感を取り入れたメニューを日替り・週替りで提供することを検討していただきます。

また、凧風館2階ディノアでは「管理栄養士のバランスランチ」を販売している他、総菜バーなど自分で選べるメニューも多数販売していますので、ぜひご利用ください。

#### ○食堂・売店における営業時間の延長について

皆さんの利便性を考えつつ、必要に応じて各事業者には営業時間の交渉を行っていますが、利用者の多いコアタイムでの営業となってしまうことはご理解ください。

利用者が増えると営業時間の延長も検討可能ですので、皆さんもぜひ積極的にご利用ください。

#### ○券売機やクレジットカード・スマホ決済の導入、及び会計時間短縮について

各事業者を確認したところ、券売機については、一部設置している食堂もありますが、台数によっては今以上に混雑が考えられるため、一部では導入を見合わせているとのことです。

また、キャッシュレス決済については、2023年5月より第1学舎KショップでPayPayの利用が可能となりました。また、第2学舎ファミリーマートはすべてのキャッシュレス決済が可能です。

各社、引き続き会計のスピードアップを心がけていくとのことです。

本学としても、学生の皆さんの利便性向上のため、キャッシュレス決済については、各事業者とDX推進とともに協力をお願いする方針です。

#### ○食堂の衛生面について

食堂の衛生面について意見がありました。

食堂の座席は毎日清掃していますが、さらに掃除・整理整頓を徹底します。

座席のテーブルを拭くためのダスターを用意していない店舗については、今後ダスターを用意することを各事業者を確認しています。

#### ○レジにおける組合員証提示のアナウンスについて

一部店舗において、組合員証提示のアナウンスを毎回行わないでほしいという意見がありました。

関西大学生協同組合の店舗では、組合員価格で割引適用となるサービスもあり、学生の皆さんがお得に利用できるよう毎回確認しています。ご理解ください。

#### ○関西大学生協同組合のミールカード代替措置について

関西大学生協同組合のミールカード終了に伴う意見がありました。

関西大学生協同組合に確認したところ、ミールカードの代替措置については検討中である旨を確認しています。

### 4 大学への通学（大学までのアクセスや駐輪場等）について

#### ○キャンパス内の駐輪及び駐輪場所について

駐輪場から学舎まで遠いため、キャンパス内に自由に駐輪させてほしいと求める意見・要望がありました。

教育環境の維持・整備や事故防止、通行スペースの確保といったキャンパス内の安全環境保持、またキャンパス内の美観の観点から、キャンパス入口付近に3カ所駐輪場を設けていますので、そちらにお停めいただきますようご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

#### ○関大前駅について

関大前駅の混雑やホームの狭さが気になるとの意見がありました。

関大前駅の混雑解消については阪急電鉄に対してホーム拡幅の検討要望を行っており、その結果、2021年1月に阪急電鉄千里線「関大前駅上りホーム」の拡幅工事が行われました。ホームの混雑は若干解消されたように思いますが、まだまだ混雑状況が改善されたわけではなく、学生の皆さんに分散通学等のご協力をいただけるとありがたいです。引き続き注視していきます。

#### ○関大前通りについて

関大前通りが汚いとの意見がありました。

関大前駅周辺の地域において、安心・安全で活力と魅力あふれる「まちづくり」を推進していくため、近隣自治会、吹田市、関大前商店会と協議する場を設けており、この場でご指摘いただいたような様々な課題を共有のうえ解決手段の検討を進めていきます。

#### ○関大前通りの交通量について

関大前駅から大学までの交通量が多く、危険に感じるとの意見がありました。

学生の皆さんが下校時に多く通行される時間帯に、関大前駅付近及び関大前通りに警備員を配置のうえ安全・安心に通行いただけるようにマナー指導に努めています。

#### ○大学周辺の街灯について

大学周辺に街灯が少ないという意見がありました。

大学周辺の街灯については、本学にて整備できる範囲内で順次整備を行っています。

#### ○千里山駅から大学までのアクセスについて

千里山駅から大学までのアクセスをわかりやすくしてほしいとの要望がありました。

関大前駅からキャンパスの経路（通学路）については特に大学が決めたものはありません。千里山駅から安全な道を選択していただき、キャンパスまで通学してください。

#### ○JR吹田駅からの無料バス導入について

JR吹田駅と千里山キャンパス間の無料バス導入についての要望がありました。

JR吹田駅から千里山キャンパスへのアクセスについては、今後も路線が維持される「朝日が丘町名神下停留所」及び「上山手町停留所（キャンパス8号門（誠之館5号館・7号館方面）から約400メートル先）」が最寄りの停留所となります。

### 5 喫煙等のマナー・モラルについて

#### ○喫煙のマナー・モラルについて

今回の学生生活実態調査においては、キャンパス外での喫煙マナー、とりわけ関大前通りにおける喫煙者の状況について、多くの意見がありました。

本学では、学園敷地内における受動喫煙の防止を恒常的・継続的に推進するために、2011年に「関西大学受動喫煙防止対策委員会」を設置し、キャンパス内全面禁煙を最終目標としながら様々な取り組みを進めています。かつては千里山キャンパス内に10箇所以上の喫煙所がありましたが、国の改正健康増進法を受けた特定屋外喫煙場所の基準策定、さらに大阪府の受動喫煙防止条例が大学の敷地内全面禁煙を努力義務としたことなど、受動喫煙をめぐる社会情勢の変化をふまえ、現在、喫煙所は100周年記念会館横と中央体育館横の2箇所のみとなっています。

コロナ禍を経て、学生諸君がキャンパスに戻ってきたことは誠に喜ばしい限りですが、同時に、キャンパス外における隠れ喫煙やポイ捨て等の困った問題を顕在化させるに至りました。本学は教育機関の責務として、受動喫煙の防止措置を講じるとともに、喫煙マナーに関する啓発活動を粘り強く続けていきたいと考えます。

### ○駐輪マナーについて

キャンパス内の駐輪マナーが悪いとの意見がありました。

駐輪場付近に警備員を配置するとともに、学生のマナー・モラル向上のため、駐輪指導を含めたマナーアップキャンペーンを各機関と連携しながらおこなっています。快適な学生生活を過ごせるよう、より一層啓発イベントを行ってまいりますので、学生の皆さんには、交通ルール・マナーを順守し、譲り合いながら駐輪場をご利用いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ○通学経路、周辺道路でのマナー・モラルについて

関大前通りを中心とした千里山キャンパス周辺における学生のマナー・モラルについて、複数の意見がありました。

本学には、近隣住民の方々から、学生の皆さんのマナー・モラルに関する様々なご意見が寄せられています。周辺道路を道いっばいに広がって歩いたり、ながらスマホに夢中になっていたり、猛スピードで下り坂を自転車走行する行為は重大事故につながる可能性があります。また、本学周辺は住宅街であり、夜間に大声で騒ぐ行為は近隣住民の静穏な環境の阻害となります。

本学では、例年マナーアップキャンペーンを実施し、適宜インフォメーションシステムを活用する等して、マナー・モラルの向上に関する注意喚起を行っています。今後も継続した取り組みを進めていきますが、学生の皆さん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

## 7 留学・国際交流について

### ○留学制度について

国際部所管の留学プログラムは多岐にわたります。1学期間～2学期間の中長期留学では、現地で専門科目を履修できる交換派遣留学、語学学習を中心とし、行き先によってはボランティア活動やインターンシップなど、実践活動にも取り組める認定留学の2つがあります。短期留学では語学学習とアクティビティに取り組める語学セミナー、語学だけでなくSDGs 関連のフィールドワークにも取り組める海外体験型研修 (SDGs を学ぶ)、協定大学で語学学習と文化体験に取り組める協定大学 Summer/Spring プログラム、国際協力ボランティア実習など、座学だけでなく海外でさまざまなことに挑戦できるプログラムが整っています。オンライン留学についてもプログラム数は多くありませんが、毎年実施しています。また、認定留学とほとんどの短期プログラムにおいては、出願時の GPA 要件や語学要件が不要ですので、留学に対してハードルを高く感じている方も、まずは誰でも参加ができて短期間からでも留学できるプログラムから挑戦してみたいかがでしょうか。新型コロナウイルスの影響で近年は募集するプログラムを限定していましたが、2023 年度からはコロナ禍前とほぼ同等数のプログラムを実施予定ですので、ぜひ自分に合う留学プログラムを探してみてください。

国際部で実施しているプログラムは一部プログラムを除き、短期・中長期ともにほとんどが帰国後、関西大学での単位認定対象となっています。参加するプログラムによって認定される単位数や、その単位が卒業所要単位に含まれるかなどは各学部・研究科によって取り扱いが異なりますので、詳細は国際部又は所属学部の教務担当にご確認ください。

留学制度や出願準備に際し、今後も学生の皆さんにとってわかりやすい情報提供を心が

けますが、もし不明点や個別に相談したいことなどがあれば国際部の留学相談にお越しください。留学カウンセラーや各プログラム担当者が丁寧に対応し、皆さんの疑問や不安を一緒に解消します。

#### ○留学にかかる奨学金・経済支援について

国際部では、留学プログラム参加者を対象とした奨学金・経済支援を充実させています。プログラムによって対象となる奨学金・経済支援の種類は異なりますが、給付型奨学金の支給や、留学中の関西大学の授業料免除など、どのプログラムにも何かしらの経済支援があります。また、全員が対象になるわけではありませんが、学内の制度だけでなく、学外の企業・団体からご支援いただける奨学金制度もいくつかあり、大学に案内があり次第、学内で募集しています。国際部所管のプログラムだけでなく、各学部・研究科が実施する短期プログラムやDDプログラムなどが対象となる奨学金制度もありますので、詳細は各学部・研究科のオフィスにお問い合わせください。

国際部では、留学にかかる奨学金・経済支援に関する情報をまとめた「留学奨学金ガイドブック」を発行しています。このガイドブックでは、応募要件や支給金額、対象のプログラムなどについて詳細に掲載しており、そのすべてが返済不要の給付型奨学金となっています。冊子版は国際部オフィス前のマガジンラック、データ版はGLOBAL NAVI サイトのお知らせに掲載していますので、ぜひ一度ご覧いただき、参加を検討しているプログラムが対象となる奨学金情報や、受給可能となった場合のおおよその金額などを確認し、留学計画を立てる上での参考にしていただければと思います。

#### ○留学生入学資格について

「留学生の入学基準が厳しいように感じる」とのご意見をいただきましたが、本学では一部のコースを除き、授業は全て日本語で行われています。授業を理解し、成長していただくため、日本語運用能力については、特に厳格に審査をさせていただきます。ご理解ください。

#### ○国際学生寮について

「国際学生寮の家賃が少し高いので、入寮したいが費用面で出来ない」とのご意見をいただきました。

本学では、各寮の運営や維持管理にあたっては、入寮される方が安全かつ快適に生活していただけるよう必要な機能やサービスを保持しつつ、出来得る限りコストを押さえる努力をしています。このような努力とともに、寮費については近隣の一般的な賃貸物件の価格などを調査しながら設定していますが、引き続き、費用面の課題を認識しながら、多くの希望者に利用していただけるよう検討していきます。

#### ○留学生奨学金について

「外国人学生に対して簡単な奨学金を設置すれば良い」とのご意見をいただきました。国際部では、私費外国人留学生を対象とした奨学金制度を取り扱っています。奨学金への推薦を受けるためには、毎年度、所定の期間に国際部にWeb申請を行う必要があります。申請の詳細は、インフォメーションシステムの個人伝言にてお知らせします。また、本学には私費外国人留学生に限らず、すべての関西大学学生が対象となる奨学金もあります。詳細は奨学支援グループのウェブサイト<<https://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/>>をご確認ください。

## 9 課外活動（施設含む）について

### ○課外活動施設について

課外活動施設について、いくつか改善要望がありました。

1つ目は、課外活動施設の狭隘化についてです。早急に解決すべき課題の一つであると捉えています。狭隘化を少しでも解消すべく2022年10月に誠之館6号館（有隣館）においてアクティブスタジオを新設しました。アクティブスタジオはフラットスペース（50人収容）であり、ダンス用のミラー等を設置しています。様々な用途での利用が期待できますので、ぜひ、活用してください。

2つ目は、課外活動施設の使用方法についてです。大学届出団体は各種手続きを行うことで課外活動施設を使用することができます。予約・使用方法については、所管窓口が発行しているマネージャー必携又は所管窓口のホームページをご確認ください。

なお、施設開室時間や設備利用については、安全面及び防犯上の観点から、日・祝日ははじめとした大学休業期間中は使用できない場合がありますので、ご注意ください。

凜風館1Fの学生ラウンジについては、大学届出団体のみならず、広く学生の皆さんに開放しています。開室時間は学生生活支援グループホームページに掲載していますので、ご確認のうえ、学生相互の交流の場として活用してください。

また、体育会関係の課外活動施設及び設備について、千里凱風寮とパワージム、中央体育館内トレーニングルームに関する要望をいただきました。

千里凱風寮内の衛生環境に関しては、これまでも衛生環境の保持に努めてきましたが、委託業者と連携し、共用施設の衛生環境の保持を中心に更なる衛生環境の保持に努めます。

凱風館1階パワージムに関しては、経年劣化した設備の取り換え更新を進めつつ、計画的に設備の補充を行っています。緊急性の高いものから準備・整備を図っていますことをご理解ください。また、ジムの拡充については、代替施設も含めて検討します。

中央体育館1階トレーニングジムに関しては、1限～3限は正課体育、3限終了後以降に課外活動で利用可能という取り決めで運用しています。可能な限りご利用いただけるよう運営しています。

### ○課外活動に対する助成制度について

課外活動への助成制度の拡充について改善要望がありました。

本学では届出団体に対する助成制度として、体育会・文化会・学術研究会・単独パートの各団体に対しては、年間主要事業の実施や備品購入に対して助成する振興費制度と、事業毎に都度助成する助成費制度等各種助成制度を設けています。

また、2021年度からは同好会・準登録団体を対象とした助成費制度も設け、課外活動に対する助成制度の拡充に取り組んでいます。

加えて、届出団体のみならず広く課外活動に対する助成制度として、文化・学術活動等奨励金制度を設けています。この制度は文化、学術、福祉、ボランティア活動等の分野において、優れた企画及び業績を有する学生や団体に対して奨励金を支給するものです。例年、企画部門は5月頃に、業績部門は12月頃に募集を行っていますので、是非ご応募いただき、本制度をご活用ください。

課外活動への助成については、学生の皆さんからの要望を踏まえながら、既存制度の見直しや新規制度の立ち上げを行ってまいりました。今後も、届出団体に対してヒアリング等を行いつつ引き続き制度の拡充に取り組みます。

## 10 その他

### ○関大生同士が知り合える場所やイベントについて

学生生活実態調査の自由記述欄において、「関大生同士が知り合える場所やイベントを作ってほしい」といった意見がありました。

今回の調査は2022年の秋に実施しましたので、長引くコロナ禍のために、不安、孤独、忍耐、犠牲に明け暮れた学生生活を過ごさざるを得なかった、そんな心の叫びのようにも思えた次第です。

本学では、正課授業やクラブ・サークルなどの課外活動はもちろんのこと、授業以外の多種多様な学びの場としての正課外教育プログラムや、ボランティア活動、ピア・サポート活動、インターンシップ、短期・中期を含めた国際プログラム、SDGs 推進や2025万博に向けた学生活動など、多岐にわたるプログラムやイベントを用意しています。それらの多くは、インフォメーションシステムのお知らせを通じて、年間にわたって募集を行っています。普段関わることの少ない他学部の学生との交流や、友達の輪を広げたい人は、こまめにインフォメーションシステムをチェックして、気軽に参加してみてください。

### ○学費について

学費の払込用紙は学生本人の住所に送ってほしいとの要望がありました。

出納課分室窓口（新関西大学会館南棟1階）にて、「学費等納入用紙送付先変更届」を提出すれば、送付先住所の変更が可能です。お急ぎの場合は、同窓口での払込用紙の再発行もできます。お手続きに関する詳細や必要な書類については、窓口でお問い合わせください。



## □ 高槻キャンパス

### 1 授業・カリキュラムについて

#### ○対面授業・遠隔授業について

授業形態について、対面授業・遠隔授業の良い面を活かして、実施して欲しいとの要望がありました。

関西大学は全学的な授業方針により、2023年度から原則として対面授業で実施しています。総合情報学部としては、教育効果やカリキュラム・ポリシーを踏まえ、一部の科目で遠隔授業を実施しています。今後も、教育効果等の検証を行い、より適切な授業方法を検討していく予定です。

#### ○英語による授業科目について

英語による授業を日本人学生にも充実させて欲しいとの要望がありました。

卒業所要単位には含まれないもののグローバル科目群において、英語による授業科目を配置しています。詳しくは、シラバスを参照又は、総合情報学部オフィスまで問合せをしてください。

#### ○専門演習について

専門演習の選考方法について、見直して欲しいとの要望がありました。

専門演習、卒業研究については、総合情報学部では必修科目となっています。開設当初から学部内で議論を重ねて、現行の選考方法としています。選考基準等の詳細については、各教員が個々に定めており、専門演習履修要項の記載又は各教員へ確認してください。また、各ゼミオフィスアワーや合同オフィスアワーで一堂に会してゼミを知る機会を設けていますので、選考方法等について確認するようにしてください。

#### ○シラバスについて

シラバスに記載されている内容では、不明瞭である項目があるとの意見がありました。

本学では、「シラバスガイド」に基づき、各科目のシラバスを作成しています。不明な点等がありましたら、初回授業で確認するようにしてください。

#### ○教職関係科目について

教職関係科目を受講する際、他の授業科目と時間割が重複するので改善して欲しいとの要望がありました。

総合情報学部では、カリキュラム・ポリシーに基づき、科目を配置しています。1週間の限られた時間割では、科目の時間割重複は避けられないところもあり、4年間の履修計画を立て計画的な履修を心掛けてください。不明な点等がありましたら、遠慮なく総合情報学部オフィスまで問合せをしてください。

#### ○授業中の私語について

授業中の私語を注意して欲しいとの要望がありました。

授業中に気になった点があれば、授業後に担任者へお伝えいただくことで、次回以降の授業で注意するなど対応して下さると思います。もし、担任者へ伝えることが難しいようであれば、遠慮なく総合情報学部オフィスまでお知らせください。

## 2 施設・環境について

### ○施設の利用申請について

申請業務の電子化を順次進めています。ご自身のスマートフォン等のデバイスから申請が可能になります。担当教員のサインや押印も、今後電子化の際にメールでの確認に変更又は、不要な場合は廃止を検討します。

## 3 食堂・コンビニについて

### ○食堂の営業時間・価格設定について

食堂の営業時間延長や価格設定についての意見がありました。

営業時間の延長や価格については、皆さんの利便性を考えつつ、引き続き各事業者と交渉し対策を検討します。

価格については、社会情勢や為替の影響による食材の高騰もあり現時点での販売価格となっていることについてはご理解ください。

### ○ミールカードの対応について

ミールカード終了に伴う手続きに関する質問がありました。

ミールカードの残金対応の手続きについては、関西大学生生活協同組合にお問い合わせください。

## 4 大学への通学（大学までのアクセスや駐輪場等）について

バスの混雑につきましては、分散乗車にご協力いただき、ありがとうございます。

高槻市営バスは1台あたりの定員が60～70名程度です。定員超過する便の前後に臨時便を増発することで対応していますが、バスダイヤの便数等、通学環境については高槻市交通部とは鋭意協議を重ねて改善に努めています。引き続き分散乗車にご理解、ご協力の程お願いします。

また、バスマナーにつきましては、以下のような内容をインフォメーションお知らせに、定期的に上げますのでご確認ください。

春学期授業開始以降、JR高槻駅北のバス停において、曜限によっては、登校時に長い行列ができる状況になっています。定時ダイヤで乗車できない場合は、臨時便が増発されています。

安全な通学のために、以下のとおり、協力をお願いします。

(お願い)

1. 階段での待ち行列は危険です。待ち行列は階段を使わず、バス乗り場に沿って並んでください。
2. 他の人の通行や点字ブロックの妨げにならないように注意してください。
3. 大学職員による行列整備を行う場合がありますので指示に従ってください。
4. 7時55分発以降のバスへの分散登校乗車にご協力願います。早めの登校にご協力願います。
5. バスの定員は70名程度ですので、大学職員や市バス職員の誘導による効率的な乗車に協力を願います。

また、座席を必要とされている乗客（「ヘルプマークを身につけている方」「高齢者」「体の不自由な方」「妊婦の方」等）がおられましたら、積極的に席を譲りましょう。

自然に譲る一例として、「次停まります」のアナウンスが流れた時や、バス停に停まるタイミングでスッと立つ、等の方法があります。

関西大学の学生という自覚を持って行動することを望みます。

## 9 課外活動（施設含む）について

施設使用願や物品借用願の申請は電子化されており、ご自身のスマートフォン等のデバイスから手続きが可能です。C棟の各教室は授業がない時間帯はオープン利用が可能です。

日曜日は各種入試や学舎貸与がある場合が多いことや、それらが無い場合は管理者不在となります。日曜・祝日の施設使用については、高槻キャンパスオフィスまでお問い合わせください。

## □ 高槻ミュージーズキャンパス

### 1 授業・カリキュラムについて

#### ○授業について

対面授業を増やしてほしいとのご意見がありました。

2020年度から2022年度のコロナ禍における取扱いとして履修者の多い大規模科目はオンデマンド配信科目となっていました。そのため、オンデマンド配信科目の数が多く感じたのかと思いますが、2023年度から全授業回を対面で実施する「対面授業」を原則としています。

また、社会安全学部の専門教育科目におけるオンデマンド配信科目は、オンデマンド配信科目として授業を実施することが教育の質の向上につながる科目（10科目）のみがオンデマンド配信科目に指定されています。関連して、対面か遠隔かを学生自身が決められるようにしてほしいとの要望もありましたが、社会安全学部では、科目ごとの特性（カリキュラム及び到達目標との関係）に応じて授業種別を決定しているため、学生自身が選択することは想定していません。

また、履修したい授業が重なっており、学びたい内容を学べないとの意見がありましたが、科目の配置は偏りがないようになるべく配慮しており、履修できなかった科目は翌年度に履修する等、優先順位、順次性を考え、4年間で計画的に履修してください。

#### ○千里山キャンパスでの履修について

千里山キャンパスで開講されている授業を履修したいとのご意見を頂戴しました。

社会安全学部では、ミュージーズキャンパスで実施されている授業で卒業所要単位を修得可能ですが千里山で開講されている共通教養科目の一部では遠隔授業になっているものもありますので、シラバス等を確認し自分の興味にあった科目を履修してください。

また、司書・学芸員等資格取得に必要な科目については、時間割の都合でなかなか履修できないとのご意見も頂戴しましたので資格取得科目については、オンデマンド受講が可能となるよう検討します。

### 2 施設・環境について

グラウンドを使用できるようにしてほしいとの要望がありましたが、「グラウンド利用申請」を行えば、授業期間の平日19時～20時までの間にご利用いただけますので、積極的にご利用ください。

詳細はインフォメーションシステムの「お知らせ」をご覧ください。

また、キャンパスが綺麗であることのご意見を頂戴しましたがキャンパスの美しさを維持するためには、学生の皆さんの協力が不可欠です。ゴミを捨てる場所を守り、敷地内のルールやマナーを遵守することも重要です。美しいキャンパスを維持するよう引き続き、ご協力をお願いします。

### 3 食堂・コンビニについて

#### ○食堂メニュー・価格設定について

食堂メニューの充実や価格設定について意見がありました。

事業者とは定期的にミーティングを実施し、学生アンケートも行うなどして、サービスや環境改善に日々取り組んでおり、引き続き学生満足度を高めるべく取り組んでいきます。

事業者には、今後日替りや週替りメニューに加えてイベントメニューなどの展開を検討する旨を確認しています。

## ○コンビニの営業時間延長について

コンビニの営業時間延長を要望する意見がありました。

学生の皆さんがコンビニをどんどん利用することが、コンビニの営業時間延長をはじめ、今後更なるサービスの向上に繋がりますので、ぜひ積極的なコンビニの利用をお願いいたします。

また、時間外のご利用については食品自動販売機にて対応していますので、こちらも積極的にご利用ください。

## 4 大学への通学（大学までのアクセスや駐輪場等）について

大変便利であるとのことのご意見の他、駅から大学が遠く、道順もわかりにくいとのこと。高槻ミュージックキャンパスは、JR 高槻駅から徒歩約7分、阪急高槻市駅から徒歩約10分という場所にあります。新入生の皆さんには、駅から大学までの道りを記載したものをお渡ししていますので、そちらも併せてご確認ください。

## 5 喫煙等のマナー・モラルについて

教室前の椅子で寝転んだり、テーブルに足をのせたりしている人がおり、マナーが非常に悪いと感じるとのご意見が寄せられました。さぞかし不快な思いをされたことと思います。

毎日綺麗に清掃された大学施設的环境下で、そのような学生がいることは非常に残念です。

これから社会での活躍が期待される立場として、学生の皆さんにはマナー・モラルの問題を再認識していただきたいものです。

ご指摘いただきましたマナー・モラルについては、改めて、インフォメーションシステム等を活用し、注意喚起します。

## 7 留学・国際交流について

社会安全学部から行ける留学を増やしてほしいとのことのご意見を頂戴しました。

社会安全学部では学部独自の留学プログラムはありませんが、国際部が主催している認定留学や交換派遣留学、語学セミナーが豊富にあります。留学について興味があれば、遠慮なくミュージックオフィスに相談してください。

## 9 課外活動（施設含む）について

放水活動の手続きを簡便にしてほしいとのことのご意見を頂戴しました。

放水活動を含む各種課外活動については、関係各所の協力の上で成り立っています。どの活動に際しても、安全面に十分配慮していただく必要があることから、警備室や事務室への届け出は必ず必要です。引き続き届け出をお願いします。

## 10 その他

他学部との交流を行いたいとのことのご意見を頂戴しました。具体的内容が不明ですが、本学では、学園祭や大学が主催する学生向けのイベントやセミナーを実施しています。また、クラブ活動やサークル活動に参加することで、他学部の学生との交流の機会が広がります。このようなイベントや課外活動に参加することで、共通の活動や目標を通じて交流を深めることができますので、積極的にご参加ください。

## □ 堺キャンパス

### 1 授業・カリキュラムについて

#### ○授業形態について

学生間のディスカッションを取り入れた授業形式を取り入れてほしいとの要望をいただきました。

カリキュラム全体の構成を見据えつつ、アクティブラーニングなどの教育効果も踏まえ、より充実したカリキュラム構成の構築に取り組んでいきます。

また、講義の声が聞き取りづらいとのご意見もいただきました。学部としても留意してまいります。聞こえづらいときは、都度、申し出ていただければ対応します。なお、直接言いにくい場合は事務室にご相談ください。

#### ○試験結果の開示について

試験結果を開示してほしいとの要望をいただきました。試験結果については、まずは授業担当者にご相談ください。さらに必要があれば、堺キャンパス事務室までご相談ください。

### 2 施設・環境について

#### ○図書館の設備・蔵書について

千里山キャンパスと比べて設備の充実や蔵書を増やしてほしいとの要望をいただきました。

総合図書館は堺キャンパス所属の学生・教職員も利用することができます。さらに、総合図書館を含む各キャンパス図書館の資料は相互にオンラインサービスにより取寄せすることができます。その他にもオンラインレファレンスなどのキャンパス間格差を是正する各種サービスがありますので、活用してください。

堺キャンパス図書館は蔵書約55,000冊、座席数272席を有しています。総合図書館の当該数字を学部及び研究科数で割った場合は、1単位あたり蔵書約9万、座席数82席となります。蔵書数の差は各図書館の運用年数の開きに鑑みると、妥当ではないかと考えています。さらに、座席数に関しては堺キャンパス図書館がより学生数に対する座席数が多いという状況にあります。また、レファレンスや図書以外の形態の資料の閲覧など、サービス面ではいずれの図書館にも同等のものを提供しています。ぜひ、堺キャンパス図書館を拠点に、他キャンパスの資料も活用してください。

図書の収集については、「関西大学図書館 資料収集方針」に則り資料収集を行っており、その上で、総合図書館以外の各キャンパス図書館においては各キャンパスの教育・研究に資する資料の収集を優先的に行うこととしています。窓口及びオンラインサービスによる購入依頼を行うことができるので活用してください。

#### ○冷暖房、空調の設定等について

冷暖房による暑さや寒さ等について要望がありました。

対応を検討してまいりたいと思いますが、1人1人が感じる室温には個人差があるので、クールビズ、ウォームビズの観点から各自での対応にご協力いただければ幸いです。

### 3 食堂・コンビニについて

#### ○食堂メニューの充実・自動販売機設置の要望について

食堂メニューの充実や自動販売機設置を要望する意見がありました。

店舗事業者と情報共有のうえ検討を進め、営業努力を求めつつ、学生食堂として持続的に提供できる体制も考慮しながら、利用満足度を高めるべく取り組みます。

自動販売機は、現在4か所に設置し飲料と若干の菓子、パンも販売しています。食堂やコンビニとともに自動販売機の設置の適正に努めます。

### 4 大学への通学（大学までのアクセスや駐輪場等）について

#### ○千里山キャンパス間の移動について

千里山キャンパスとの移動時間が長いとのご意見をいただきました。

堺キャンパス最寄駅の浅香山と千里山キャンパス最寄駅の関大前間の移動時間は、約1時間です。授業の予習復習、資格試験対策等に移動時間を工夫し、有効に活用してください。

なお、堺キャンパスと千里山キャンパス間でのシャトルバス運行を行っていますので、ぜひ活用してください。

以 上